



2023年11月10日

各 位

会 社 名 東洋インキ SC ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高島 悟  
(コード: 4634 東証プライム市場)  
問合せ先 執行役員・グループ財務部長 有村 健志  
(TEL. 03-3272-6002)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年2月14日に公表した2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の通期連結業績予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 当期の連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	330,000	11,000	9,500	6,000	113.19
今回修正予想(B)	320,000	12,000	12,500	8,000	150.92
増減額(B-A)	△10,000	1,000	3,000	2,000	
増減率(%)	△3.0	9.1	31.6	33.3	
(参考)前期連結実績(2022年12月期)	315,927	6,865	7,906	9,308	171.49

#### 2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかに回復している一方、物価上昇による消費者の買い控えや、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高止まりが続いており、先行きは不透明な状況にあります。

当企業グループの事業環境におきましては、上半期に液晶パネル市況、エレクトロニクス市況や中国市場の停滞による販売数量の伸び悩みがあり、下半期に回復の傾向となったものの上半期を補うには至らないため、売上高は当初の計画を下回る見込みです。

一方、原材料やエネルギーなどの価格高騰に対し、事業構造改善などによるコスト削減や販売価格の改定が進展し、利益改善は進んでおります。また、円安外貨高に伴い発生した為替差益の影響も加味した結果、利益面では当初の計画を上回る見込みです。

以上により、通期連結業績予想を修正することといたしました。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報を基にしており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上